



《“会議のムダ”を、一台で劇的に改善》

MAXHUB

– 日本正規販売輸入元 –

株式会社 MAYAビジネスソリューションズ

会議前（準備）

会議中

会議後（アクション）

1. 資料準備

- 同じ資料を何度も印刷・配布
- 最新版が分からず、複数人で確認のやり取り
- そもそも会議室に資料を忘れる、持ち込みミス

2. 機材・環境準備

- プロジェクターやモニターの接続トラブル
- パソコンと表示機器の相性問題やケーブル探し
- 会議室の予約ミス、設備不備

3. 事前情報共有

- 参加者に事前情報が行き届かず、説明が冗長化
- 目的やアジェンダが共有されておらず、開始時に混乱
- 参加者間で情報の認識ズレが発生

4. 人的リソース

- 準備担当者の工数（印刷、配線、資料送付など）
- 本来の業務を止めて準備対応
- 必要以上の人数が「念のため」参加

5. 精神面・心理面

- 「機材トラブルが起きたらどうしよう」という不安
- 準備に追われ、内容の検討が疎かになる
- 準備不足による会議の質低下への焦り

1. 目的・進行の不明確さ

- 会議の冒頭で「何を決める場か」が共有されない
- 脱線や雑談が増え、結論が出ない
- ファシリテーターが不在でダラダラ進行

2. 情報共有・視覚化

- ホワイトボードや紙の書き写しに時間がかかる
- 画面共有の切り替え・資料探しに手間取る
- 話していることが“見える化”されず、理解に差が出る

3. 技術トラブル

- プロジェクター・PC接続不良
- テレビ会議・音声トラブルで議論が中断
- 機器操作に不慣れな人が進行を妨げる

4. 人的リソース

- 必要のない人まで参加し、時間と人件費が浪費
- 同じ説明を何度も繰り返す
- 議論に関係ない人が「座っているだけ」状態

5. 精神面・心理面

- 結論が出ないことで「また次回」に持ち越し
- 曖昧なまま終了し、モヤモヤ・不満が残る
- 会議が無駄だと感じ、参加意欲・生産性が低下

1. 議事録作成

- 手書きメモやホワイトボードの写真を後から整理
- メモ漏れや認識違いによる手戻り
- 作成に時間がかかり、すぐ共有できない

2. 情報共有・確認作業

- 決定事項や宿題が関係者に伝わらず、二度手間
- メールやチャットでの「確認だけ」のやりとりが増加
- 情報がバラバラに残り、後から探すのが困難

3. 行動・アクション

- 誰が何をいつまでにやるかが不明確
- 結局、次回会議で「前回の続き」を繰り返す
- 責任の所在が曖昧で進捗管理ができない

4. 振り返り・改善が行われない

- 会議の質や成果を検証せず、同じ非効率を繰り返す
- 「改善する意識」が根付かず、形式的な会議が続く

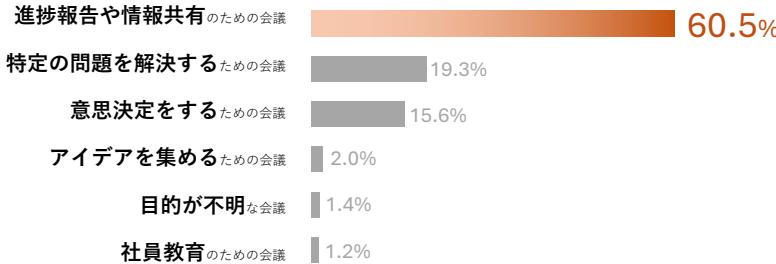
5. 精神面・心理面

- 成果が実らず、会議が「時間のムダ」という印象が定着
- モチベーション低下、関係者の温度差が拡大

データで見る“会議の実態”

MAXHUB
All in one meeting board

最も多く参加している社内会議の目的



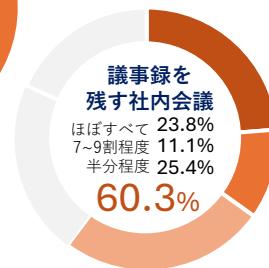
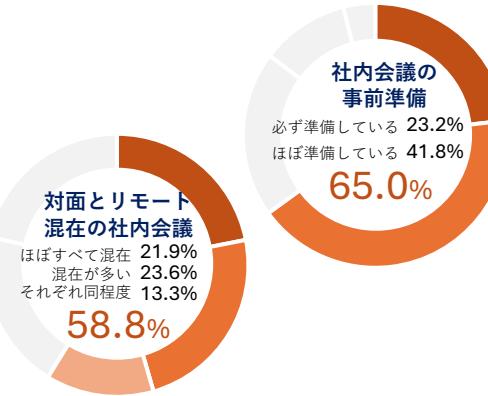
※複数回答
社内会議中に無駄だと感じる Best 5

- 1 長時間の会議 (54.3%)
- 2 議題が不明瞭 (44.5%)
- 3 不要な人員が多い (33.6%)
- 4 伝達済みのことを改めて共有 (27.2%)
- 5 会議の目的と異なる雑談 (26.9%)

※複数回答
社内会議への
課題意識
とても感じる 14.3%
まあ感じている 39.6%
53.9%

社内会議の課題ポイント

1. 会議が長い (36.7%)
2. 発言者に偏りがある (34.7%)
3. 結論が出ない (34.6%)
4. 似たような会議が多い (27.2%)
5. いつも同じ人が発言している (26.9%)
6. 出席者の日程調整が難しい (24.6%)
7. 目的がはっきりしない (20.6%)
8. 話が違う方向にずれる (18.7%)
9. 議論がまとまらない (17.3%)



MAXHUBとは

MAXHUB
All in one meeting board

会議の生産性を最大化する「オールインワン・ミーティング・ボード」

MAXHUBは、会議の生産性を飛躍的に高めるだけでなく、会議前の資料準備や機材セットアップ、会議後の議事録作成や決定事項の共有までをスマートに支援。面倒な作業から解放し、本来の「成果を生み出す時間」に集中できる環境を実現します。



MAXHUBのコンセプト

MAXHUB
All in one meeting board

会議で決まったことをすぐに現場へ、現場で得られた成果をすぐに会議へ。



目的が明確であること
成果を出すための意思決定・情報伝達の場
効率（投資効果）重視であること
最小人数・最短時間で最大効果を得る



ゴールが明確であること
決定事項・会議後のアクションが明確になること
現場に連携されること
決定事項が迅速に共有され行動に直結すること



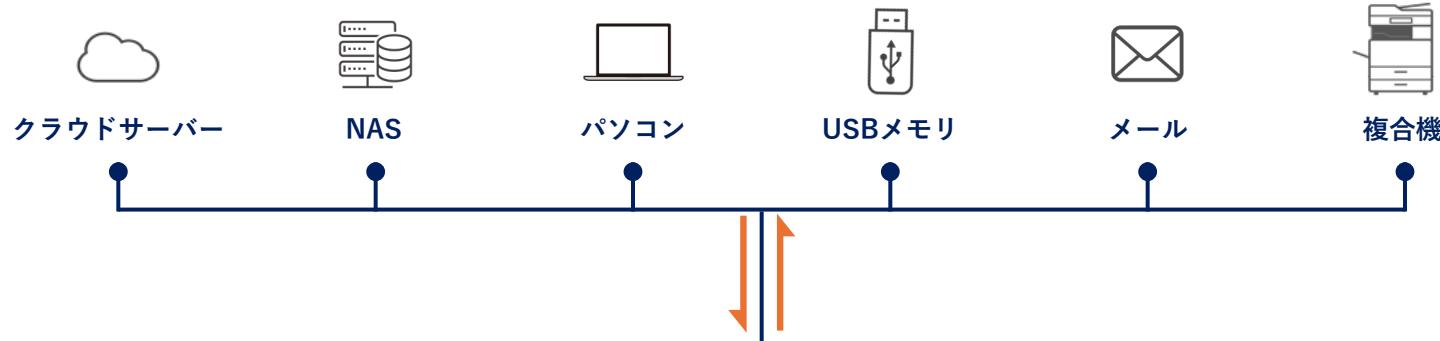
MAXHUBは、この双方向の循環を加速させ、“会議を成果に変えるエンジン”となります。

ホワイトボード×MAXHUB

MAXHUB
All in one meeting board

保存して終わりじゃない。あとから何度も再編集できるホワイトボード。

MAXHUB本体のストレージの他、クラウド、NAS、パソコン、USBメモリー、メールなど、多彩な保存先に対応。
保存したファイルは必要なときに呼び出し、加筆・修正・再利用が可能で、業務の効率化に直結します。



ホワイトボード便利機能

MAXHUB
All in one meeting board

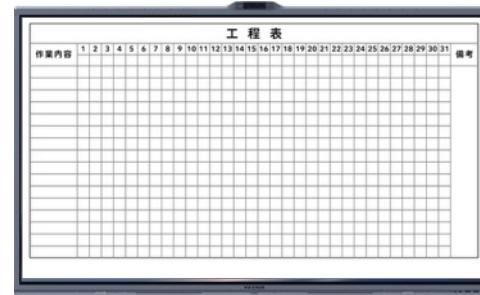
書く・消す・戻る

MAXHUBは、電子黒板上で「書く・消す・戻る」を直感的に操作できるスマートボードです。板書の修正や追記が簡単に行え、授業内容を効率的に整理・共有できます。



背景設定

MAXHUBは、背景に工程表や方眼紙、無地などを設定でき、授業や会議内容に応じた最適な板書レイアウトを実現します。情報整理や進行管理がより効率的に行えます。



メモ送信機能

メモ送信機能では、会議中にホワイトボードへ直接メモを送信可能。さらに、リモートで参加しているメンバーからも即時に送れるため、距離に関係なく全員の意見を一つの画面に集約できます。



QRコードで保存

MAXHUBは、板書内容をQRコードで簡単に保存・共有できます。工程表などの背景設定と組み合わせることで、授業や会議の記録を効率的にデジタル管理できます。



対面とリモート参加のハイブリッド会議が劇的に変わる

MAXHUBは、会議の生産性を飛躍的に高めるだけでなく、会議前の資料準備や機材セットアップ、会議後の議事録作成や決定事項の共有までをスマートに支援。面倒な作業から解放し、本来の「**成果を生み出す時間**」に集中できる環境を実現します。



Web会議で使える秀逸機能

MAXHUB
All in one meeting board

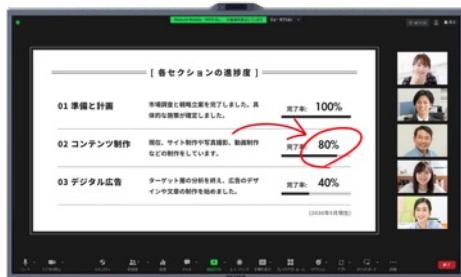
AIフォーカス

複数の参加者を同時に捉え、表情や仕草を鮮明に映し出すインテリジェント・フォーカス・テクノロジー。まるで同じ空間にいるかのような没入感を生み出します。



アノテーション

リモート会議中でも、共有画面に直接書き込みができるMAXHUBのアノテーション機能。資料にマーカーを引いたり補足を書込んだりと、リアルな会議さながらに意見を視覚化し、全員の理解を深めます。



BYOM

普段使っているWeb会議アプリを自分のPCからそのまま利用でき、MAXHUBの高品質なカメラ・マイクと連携。操作の煩わしさなく、スムーズで快適な会議を実現します。



メモ送信機能

メモ送信機能では、会議中にホワイトボードへ直接メモを送信可能。さらに、リモートで参加しているメンバーからも即時に送れるため、距離に関係なく全員の意見を一つの画面に集約できます。



画面投影×MAXHUB

MAXHUB
All in one meeting board

ドングルもアプリもケーブルも。あらゆるデバイスから、思いのままに投影できます。

パソコンなら
MAXHUBから
操作も可能



ワイヤレスで
最大4台まで
同時接続可能



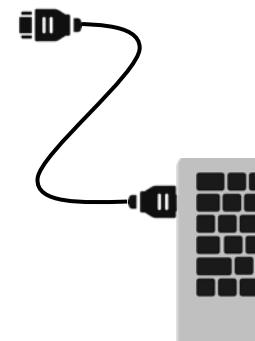
ワイヤレスドングル
(Type-A / C)



MAXHUB Share アプリ
(Windows OS / Mac OS)



端末のミラーリング機能
iOS / Android OS / Chrome OS



もちろんHDMIケーブル
にも対応しています

會議進行 × MAXHUB

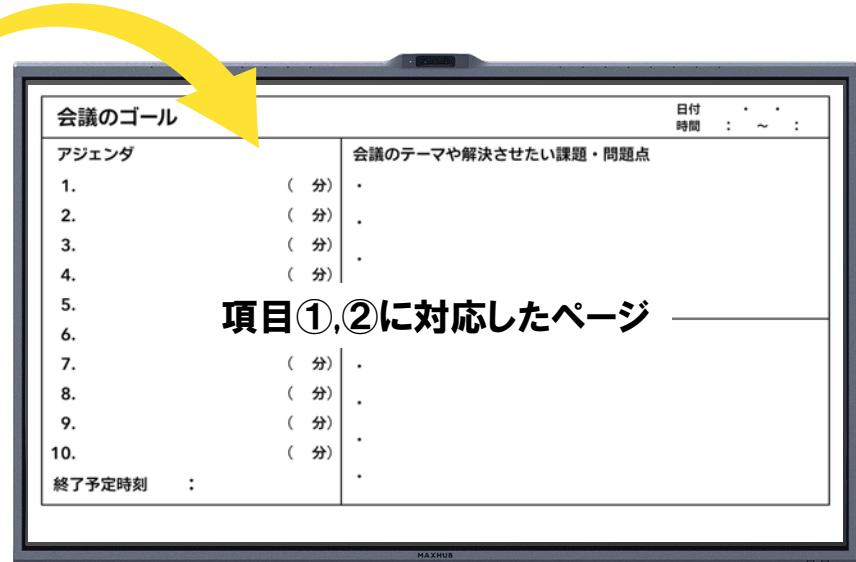
MAXHUB
All in one meeting board

理想的な会議進行をフォーマット化 → 誰でも理想的な会議進行を再現可能に。

【理想的な会議進行フォーマット例】

項目	内容	目安時間
① 開会・目的確認	司会または主催者が開始を宣言し、目的・ゴールを共有する	3分
② 出席確認・議題確認	出席者を確認し、当日のアジェンダを再確認する	2分
③ 前回の振り返り	前回の決定事項・宿題の進捗を確認する	5~10分
④ 各議題の討議	議題ごとに担当者報告→質疑→結論→ToDo決定	議題数 × 10~20分
⑤ 決定事項とToDo整理	決定事項・担当・期限をまとめて確認	5分
⑥ その他・共有事項	緊急報告や連絡事項など	5分
⑦ 次回予定・閉会	次回日程と目的を確認して終了	2分

【会議進行に対応したホワイトボード】



項目③ 対応ページ

項目④ 対応ページ

項目⑤ 対応ページ

項目⑥ 対応ページ

項目⑦
対応ページ

会議で使える背景画像の例

MAXHUB
All in one meeting board

会議のゴール		日付 時間 : ~ :
アジェンダ		会議のテーマや解決させたい課題・問題点
1.	(分)	.
2.	(分)	.
3.	(分)	.
4.	(分)	.
5.	(分)	.
6.	(分)	会議中のルールや協力のお願い
7.	(分)	.
8.	(分)	.
9.	(分)	.
10.	(分)	.
終了予定時刻 :		.

アジェンダ	目的	
事実や課題の整理 事実と個人の感想を分別	解決案 メモ送信機能で案を収集	
決定事項		
タスク	担当者	期限
採用		
不採用		



カスタマージャーニーマップ ベルソナ：

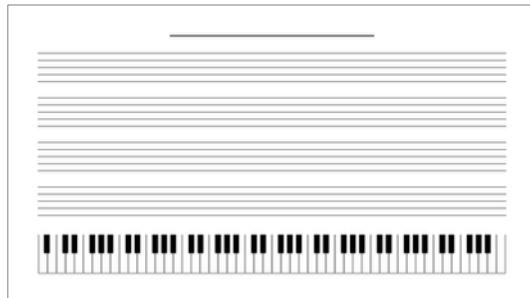
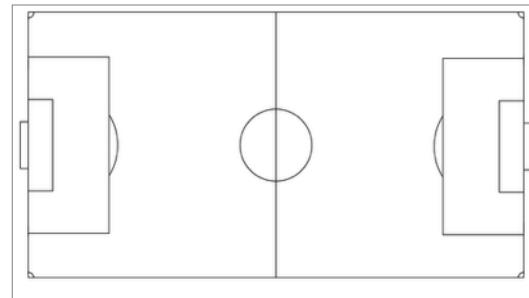
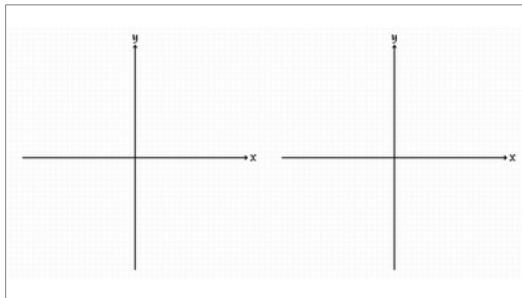


他にも多数のフォーマットやフレームワークをご用意しています。

その他の背景画像

MAXHUB
All in one meeting board

[]月	[]月	月間予定表
日曜	16.	
1.	17.	
2.	18.	
3.	19.	
4.	20.	
5.	21.	
6.	22.	
7.	23.	
8.	24.	
9.	25.	
10.	26.	
11.	27.	
12.	28.	
13.	29.	
14.	30.	
15.	31.	



会議内容の共有×MAXHUB

MAXHUB
All in one meeting board

決議事項やアクションプランの現場への共有もMAXHUBなら正確かつ迅速に。



MAXHUBは、会議室を“整理された生産性の空間”に変えます

従来の会議室はケーブルや資料が散乱し、準備や共有に時間を消費。MAXHUB導入で配線も資料も整理され、ワンタッチで会議開始。電子ホワイトボードで即保存・共有でき、会議室は洗練された空間に生まれ変わり、生産性を高めます。

Before



After



壁のホワイトボードが、組織をつなぐハブになる。

行動予定や連絡事項、朝礼での共有など、これまで“壁の中”に閉じていた情報が、MAXHUBを中心に社内全体へ広がります。
支店やリモートメンバーともリアルタイムでつながり、どこにいても同じ情報を共有。
執務室が、情報と人をつなぐ“新しいハブ空間”へと進化します。

Before



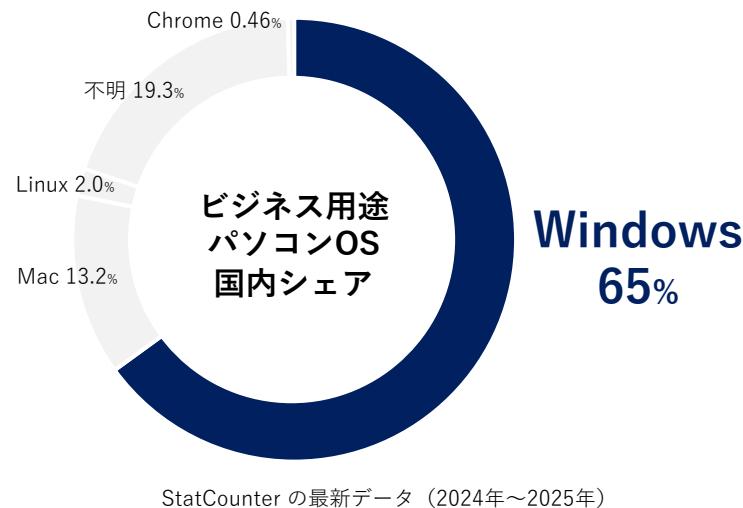
After



他社製品との違い

MAXHUB
All in one meeting board

似ているようで決定的に違う。その差は、ホワイトボードアプリを支えるOS



ビジネスシーンではWindowsやMacが主流です。ビジネスユースを前提に開発されたMAXHUBは、Windows OSを採用しているため、**ホワイトボードアプリとその他のビジネスアプリを同じ環境でシームレスに操作できます**。一方で、他社製品はAndroid OS上で動作するため、他アプリとの連携や業務利用に制約があります。

MAXHUB



MAXHUB以外の製品



お問い合わせ窓口

MAXHUB
All in one meeting board

MAXHUBに関するご質問・お見積りのご依頼は下記窓口までご連絡ください。

【日本総販売輸入元】

株式会社 MAYAビジネスソリューションズ

電話番号：03-6831-0329

E-Mail：maxhub_partner@mayass.com

会社概要

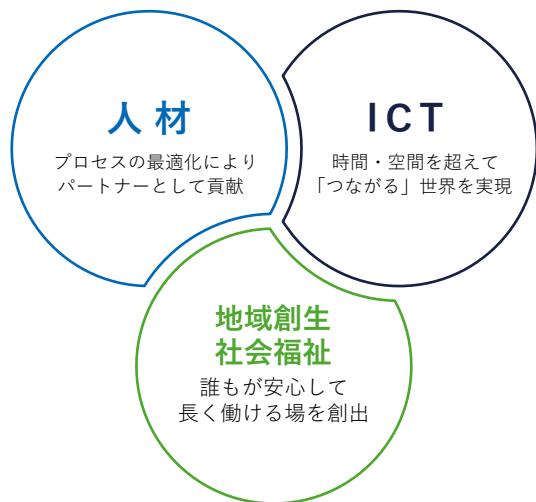
MAYAホールディングスについて

MAXHUB
All in one meeting board

会社名	株式会社 MAYAホールディングス
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル44F
設立	2018年2月1日
代表取締役	内藤 献
従業員数	1,874名 ※2024年9月期末、契約社員含む
売上高	191億円 ※2024年9月期決算
拠点	国内16拠点 海外3拠点
関連会社	株式会社MAYA STAFFING 株式会社MAYA MIRAI 株式会社MAYA エンジニアリング 株式会社MAYA TECHNOLOGIES 株式会社MAYA SYSTEM 株式会社MAYA ビジネスソリューションズ 株式会社MAYA ネットソリューションズ 株式会社MAYA SUSTAINERGY 株式会社MAYA ケアメイト 株式会社HORSE & MUSH 学校法人MAYA学園



MAYA GROUPは、人材ソリューションとITソリューションを中心事業として展開しています



人材ソリューション

■ 株式会社 MAYA STAFFING

- BPO受託
コンタクトセンター運営・受託/営業代行/ICT 運用支援
- RPO受託
HRコンサルティング/採用アウトソーシング/
就職・再就職支援
- 人材派遣
IT・テクニカル系/オフィス系/
コールセンター系/工場ワークス系
- 人材紹介

■ 株式会社 MAYA MIRAI

- 外国人採用コンサルティング
「登録支援機関」認定
- 留学生斡旋
- 海外起業家支援

■ 株式会社 MAYAエンジニアリング

- オフィスネットワークの
コンサルティングから保守まで提供
- セキュリティシステム/オフィスコミュニケーション
クラウド/SaaSサービス/ネットワーク環境

グローバル展開

ICTソリューション

MAYA TECHNOLOGIES GROUP

■ 株式会社 MAYA SYSTEM

- Cloud SIMテクノロジーの提供と運用
通信プラットフォームの構築
通信デバイスと通信商材のOEM受注
ビジネス運用の支援

- 次世代DXソリューションの提案
次世代型ミーティングデバイス「MAXHUB」の独占輸入
通信/デジタル関連/次世代技術の研究と開発

■ 株式会社 MAYAビジネスソリューションズ

- Cloud SIMのデータ通信と対応デバイスの
販売/ビジネス支援/ユーザー支援などの提供

- DX推進ソリューションの提供
コミュニケーション領域を中心に、
会議や教育のDX推進を支援

■ 株式会社 MAYAネットソリューションズ

- 通信ビジネスコンサルティングの提供
Cloud SIMテクノロジーを基盤とした垂直統合型提案

- 通信デバイスの提供
Cloud SIM対応「VOLANS」企画/開発/販売

- 通信運営/営業/開発受託
Cloud SIMテクノロジーCRMシステムの提供

■ MAYA VIETNAM CO.,LTD.

ベトナム現地法人

■ PT. MAYA NETRA INDONESIA

インドネシア現地法人

地域創生・社会福祉

■ 株式会社 MAYA SUSTAINERGY

- 農業と障がい者福祉の連携
再生可能エネルギーの活用
MAYAステナファーム 八幡平/磐田/吉備中央

■ 株式会社 MAYAケアメイト

- 障がい福祉サービス
就労継続支援A型事業所 ハーモニー八幡平

■ 株式会社 HORSE & MUSH

- 廃棄という概念を無くした
馬が主軸の循環型農業
ジオファーム八幡平

■ 学校法人マヤ学園

- ITスキル教育を通じて地域社会貢献
島根デザイン専門学校

会社概要

MAXHUB
All in one meeting board

会社名 株式会社MAYAビジネスソリューションズ

本社所在地 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル44F

設立 2022年12月6日

役員

代表取締役社長	原田 陽次
社長執行役員	曾山 秀二
代表取締役	浅野 隆司
取締役	高倉 昭
常勤監査役	加藤 真由子
執行役員	小田部 貴

資本金 5,000万円

従業員数 30名(2025年8月時点)

事業内容 仮想SIMテクノロジー搭載端末および次世代ミーティングパネルの企画・販売・運用・支援、またはそれに付帯・関連する諸業務

関連会社 株式会社MAYA SYSTEM
株式会社MAYA ビジネスソリューションズ
株式会社MAYA ネットソリューションズ

